

仁心祭に向けて本格的な準備が始まりました

今年度の仁心祭は10月7日(木)、8日(金)の両日に渡って開催されます。昨年度から、文化祭と体育祭を同時期に開催するようになり、この2つの行事をあわせ仁心祭としました。

仁心祭は、周囲と協働する力や望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校にしようとする意識と、最後まで物事を成し遂げる姿勢を育てることを目標としています。

その目標を達成すべく、企画・運営は生徒会執行部を中心に、生徒全員が協力しながら行ってきました。5月から大綱案作りに取りかかり、スローガンの設定、文化祭でのクラス発表等の決定、夏休み以降は、1、2年生は文化祭の準備、3年生は進路対策と平行して体育祭の衣装や応援のダンスを考えたり、デコレーションの準備に取りかかったり計画的に進めてきました。開催まで残すところ1週間となり、本格的なクラスイベントの準備や、全学年そろっての応援練習等を行うために本日(9月30日)から前日の10月6日までの5日間、終日準備期間となります。その初日となる本日、全校生徒に向けて岩木生徒会長から放送で「全員で協力して、お互いの個性を認め合い、声を掛け合って最高の仁心祭になるように頑張りましょう」と力強いあいさつがありました。

例年だと、文化祭、体育祭は多くの保護者の皆さんに会場にいただき、生き生きとした生徒の活動を見ていただきたいところですが、コロナ禍での開催となるため、3年生の保護者のみを対象に事前申し込みにより来場していただけるように制限させていただきました。ご理解とご協力をお願いいたします。

仁心祭のスローガンは『青春輝け ～新時代の幕開け～』です。コロナ禍、自分たちの手で新しい時代を作り出したいという願いを込め、また大人になった時、自分たちの青春は心の中にずっと輝き続けてほしいという思いを「青春輝け」で表現したものです。

仁心祭のポスター



は2年生の猪俣晴夏さんが作成してくれました。猪俣さんは、青春輝けというスローガンからイメージして青春の一場面を記憶に残すという思いで作成したそうです。

